

道路4 国道55号の一次改築(徳島県)

No.	資料名	ストック効果に関する記述
徳島13	穴喰町教育委員会編「穴喰町誌 上巻」(穴喰町教育委員会、1986年)、1215頁	<p>国道五十五号線 (中略)</p> <p>国道五十五号線全線の改修が完了し、金目県境から徳島市迄九十キロメートル、高知方面は、同所から(室戸岬四十キロメートル)高知市はりまや橋迄一二キロメートルとなり、改修前に較べてそれぞれ十キロメートル以上短縮された。</p>
徳島14	海部町史編集部編「海部町史」(海部町教育委員会、1971年)、425頁	<p>国道五五号線</p> <p>本町と徳島・高知方面を結ぶ国道五五線が昭和四十三年に開通し、海部川には工費二億円で延長三二五米・幅員六・五米の美しい新海部川橋が架せられ、西山が分断されて緑の自然美は損なわれたが一直線に鹿谷に続く近代的な構造美を発揮するハイウェイには常に自動車の往来の絶えたことがない。</p> <p>この国道の開通によって郷土と他地域との間の距離は時間的に短縮され、牟岐町とは二十分、日和佐とは四十分、徳島とは約二時間半で往来できるようになった。</p>
徳島16	海南町史編さん委員会編「海南町史上巻」(海南町、1995年)、1339頁	<p>国道五五号 (中略)</p> <p>この国道の改修整備によって、海南町は県都徳島との距離は時間的に大きく短縮された。牟岐町へは一五分、日和佐町には三〇分、徳島市とは二時間で結ばれることとなった。</p>
徳島17	牟岐町史編集委員会編「牟岐町史」(牟岐町、1976年)、808-809頁	<p>国道五五号線</p> <p>昭和四十三年より前述の県道日和佐一甲浦線は国道五五号線に編入せられ、幅員を五・六五メートルより一・七メートルに拡げ、カーブや傾斜を緩和する全路線の改修、トンネルの掘さくが行われ、且つ路面の舗装によりスピードアップと、牟岐町一徳島間の交通時間が自動車にして片道二時間半より一時間半位に短縮され、交通運輸量も頗る増大した。かくて荷車や馬車よりカー時代へ移行した。</p>
徳島18	日和佐町史編纂委員会編「日和佐町史」(日和佐町、1984年)、467頁	<p>国道五五号線 (中略)</p> <p>日和佐町内での工事は、昭和四十一年からはじめられ、同四十六年十二月二十日には舗装も完成した。この結果、従前の町内区間は北河内字大戸星越峠一街内一西河内一山河内字かんばの寒葉峠の間は延長二三・六キロメートル(平均幅員四メートル)であったものが、延長一八・九キロメートル(平均幅員八・五メートルの二車線)となり、四・七キロメートル短縮された。</p> <p>また、この区間には、トンネルが、星越(二三〇メートル)、久望(一三七メートル)、一ノ坂(二二四メートル)、奥湯(一〇〇メートル)、日和佐(六九〇メートル・奥湯と山河内の境)の六つある。</p> <p>(中略)</p> <p>完成以前、日和佐から西河内をまわって山河内を経由し牟岐町に至る所要時間は、乗合バスで一時間以上を要したが、今日では新国道により二〇分ほどで達するようになった。</p>